



窯屋さん

こんな感じの茶碗を
原型にしておくれ。

まずは型作りから
やきものは主に石膏の型で成形する。
まずは型屋さんに原型作りを依頼する。

型屋さん

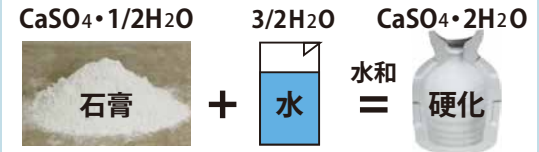


原型師とは
製品の形状を作る職人。
腕の良い原型師は顧客の要望に
正確に応えつつ、センスも織り
交ぜながら原型を創り上げる。

石膏ってすごいね!



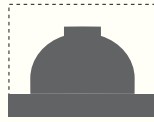
石膏原石



石膏と水を混ぜると硬化する。硬化した石膏は吸水性を持ち、粘土の水分を吸うことから、やきものの成形の型に適している。高い強度はなく100~300個程の成形で型を新調する必要がある。

がたや 原型

原型できたよ。
原型OK。
見本型作って。



製品の原型

がたや 見本型

見本型できたよ。
試作してみて。
試作ばっちり。



使用型の原型

ケース型

茶碗の注文が来た!
ケース型を作って
使用型を沢山納めて。



使用型を複製する型

がたや 使用型

1つのケース型で1日に
約15個作るのがやっつ。
毎日時間この勝負だ!



実際に成形に使う型

強度重視
↑
↓
吸水性重視



ありがとう。
型屋さんのおかげで
毎日生産ができるよ。

